

池田・しぜんのたより

No. 400 (2025年11月16日)
五月山自然観察インストラクター連絡会
五月山都市緑化植物園
大阪府池田市五月丘 5-2-5 Tel.072-752-7082

2025年10月19日 池田自然観察会

ドングリを楽しむ

<どんぐり拾い・遊び・工作>

朝から小雨が降ったりやんだりで天候が心配されましたが、幸いにも集合時間前には雨も上がり薄曇りながら過ごしやすい天気恵まれました。定刻の午前10時に緑のセンターに参加者が集合。一般参加者は27名(子供12人、大人15人)、スタッフ9名合計36名の参加でスタートしました。

❖ ドングリの観察とドングリ拾い

緑のセンターの玄関口前に全員集合して開会しました。スタッフから当日配布の資料や説明パネルなどを使ってドングリについての興味深い説明(①ドングリとは②名前の由来③各部位の名称④種類と特徴⑤形や殻斗⑥根と芽はどこから出る?⑦ドングリに寄生する虫など)を聴いた後、どんぐり拾いに向かいました。

緑のセンター横の橋を渡って、娯三堂コースの途中から児童公園へ下るコースを、ドングリを探しながら歩きます。途中ではスダジイの実が沢山落ちており、児童公園の近くではクヌギとアベマキのドングリの実と殻斗を沢山拾いました。

❖ ドングリ転がし

この後、拾ったどんぐりを2個手に持ち、緑のセンターの横の坂道で子供達だけでドングリ転がしをして遊びました。歓声が絶えず大いに盛り上がりました。1~3位の子供には、記念としてスタッフが作ったムクロジのストラップの賞品が渡されました。



❖ 工作

いよいよ工作会場(緑のセンター二階)へ向かいました。二階への階段には、緑のセンターの方が準備してくれた標本木(ドングリの実付き)が配置されており、関心のある参加者にスタッフが

説明をしました。

工作会場ではスタッフより工作をする際の注意事項などの説明があり、ドングリ工作に使うビーズや目玉等の入った小袋



に参加者全員に渡されて工作がスタート。みんな自分で拾って集めたドングリと、予めスタッフが準備した色々なドングリや木の実、ビーズ類などの飾り物、ペイント類、ボンド、穴あけ道具などを使って自由な工作に取り掛かりました。親子が共同作業で楽しそうに作品を作り上げている傍らでは、次第に自分の作品に熱中する親御さんの姿が目につきました。

最後は、みんなで作った作品を展示してみんなで鑑賞して終了になりました。



《参加者の感想など》

子供さん達だけでなく親御さんも一緒に夢中に取り組んだ様子で、異口同音に“とっても楽しかった”“普段からドングリに親しんでいましたが、その種類もわからず今日教えてもらって嬉しかった”など、皆さん十分に楽しまれた様子でした。今日参加された方は池田市の方が多かったためか、市の広報から情報を得て参加された方が多かった。一方、先月の観察会で得た情報で参加された方や友人の誘いで参加された方など様々であった。(T.W)

右のQRコードをスキャンすると
しぜんのたよりのカラー版が見られます。



★池田の自然 街角の話題をお寄せください★

あて先 池田市緑のセンター

FAX 072-752-7401

E-Mail: midoricenter@imsf.or.jp

(E-Mail がお勧めです)



池田の自然 街角の話題



まだまだ暑さの残る9月末ごろ、塩塚公園で地面に何匹もの小型のスズメバチの死骸が落ちていました。その頭上の木の上に蜂の巣があり、複数のオオスズメバチが巣の中から白い物体をくわえて飛びたち、また戻っては白い物体をくわえて飛びたちを繰り返していました。白い物体は卵や幼虫でしょう。肉食で凶暴なオオスズメバチが、ミツバチの巣を乗っ取るところをテレビで見たことはありましたが、他のハチを襲うその姿を目の当たりにして、改めてオオスズメバチの強さを実感した1日でした。

川西市 辻

10月21日 猪名川での野鳥観察

朝の最低気温が20℃を切って、過ごしやすくなりました。5人が集まり定例の観察会となりました。コサギ、ダイサギの白い姿が沢山猪名川の浅瀬に佇む姿を見るといよいよ冬鳥のシーズンの到来を感じさせてくれます。今回冬の渡り鳥（ヒドリガモ、コガモ）がやってきたことが確認できました。

本日の観察範囲はビッグハープの橋脚付近から高木井堰迄。観察できた鳥は20種類でした。

本日観察できた鳥；

コガモ、ヒドリガモ、カルガモ、アオサギ、コサギ、ダイサギ、イソシギ、ハマシギ、イカルチドリ、カワウ、カイツブリ、ハクセキレイ、セグロセキレイ、モズ、キジバト

(声)、

ヒヨドリ、チョウゲンボウ、ハシボソカラス、ハシブトガラス、スズメ



川西市小花 渡邊

10月20日 神田4丁目にある八坂神社のムクロ

ジが今年は実を多数付けています。木の実は昔羽子板で使用する羽根の重し部分に利用されていたようです。池田自然観察会では10月の観察会の中で「どんぐり転がし」のゲームをし、1位～3位の子供にこの実で造ったキーホルダーをプレゼントしています。作成するのには、熟練の技術がいるようですが、大変喜ばれています。



神田1丁目 大竹

10月18日、自宅マンション敷地にて、アサギマダラがふわふわと飛んでいるのを発見！

我が家の近くでアサギマダラを見ることは、たまにあります。ヒヨドリバナやフジバカマが生えてい

るわけではないですが、通り道が近いのか、時々、一頭飛んでいたりすることが数年ごとにあります。丁度小雨が降って来て、雨をよけて休憩するのかコナラの葉に止まりました！後翅に黒斑がないので早のようです。早はヒヨドリバナに執着しないので、なるほどという感じでした。



豊中市 土田

=池田自然観察会のお知らせ=

***12月のテーマ 五月山の紅葉を楽しむカレンダーづくり>**

***と き** 2025年12月14日(日)
10時00分～12時30分

***集合・解散** 緑のセンター

***持ち物** ポリ袋、歩きやすい服装

***参加費** 300円

***指導** 五月山自然観察インストラクター連絡会

***問い合わせ** 池田市緑のセンター TEL072-752-7082
火曜日休館(祝日の場合は翌平日)